

授業科目名 <英訳>	中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 武田 時昌				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	木2	授業形態	特殊講義
題目	易を読む								
【授業の概要・目的】									
<p>中国的思惟は、老子と易を思想源とする。老子は道教、易は儒教のそれぞれの聖典であったが、両書が主張する自然哲学、処世観はきわめて類比しており、道家と儒家、老子と孔子という学派的な対立の図式にあるというより、むしろ相補的な関係にあった。したがって、両書の読まれ方は、宗教哲学と政治思想という枠組みを逸脱して多角的、横断的であり、その往来、交差する場所に中国思想の基層構造が形成された。そこで、後期は易の特色的な言説を選読しながら、古今の人々にどのように読まれてきたかを検討し、中国的パラダイムの本質を探る。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>易は、数を極めて未来の生き方を占うト筮書としての機能を保持しつつ、天地自然の摂理や人倫社会の道徳を論じた哲理の書として扱われる。八卦の象数に投影された数理や哲理を読み解くという営為によって、その聖俗両面を導き出すことができるのである。そこで、毎回、心身を潔めて卦を立て、その占辞に内包された情報を探索することから読解をスタートさせ、その自然哲学的な言説が後世に与えた影響を検討しながら、中国的思惟の構造的把握を試みる。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点（出席よりも自主レポート等の学習意欲を重視する）。									
【教科書】									
授業中に指示する									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
<p>旺盛な好奇心と豊かな発想による多種多様な読書活動を通して、文献読解と哲学的思索の界域を自由遊泳することを要望する。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									